

家庭調書の書き方（記入例）

- ・令和8年10月1日現在（予定）の状態を記入してください。
- ※入寮許可後に、記載事項が事実と相違していることが確認された場合は、入寮許可を取り消す場合があります。

※要求番号（大学記入）

家庭調書

「家族住所（自宅）」欄
住所は、都道府県名から記入してください。
集合住宅の場合は、建物名及び部屋番号まで記入してください。

「家族及び所得」欄
ア 「家族」は同居・別居を問わず出願者と生計を一にする者全員をいいます。
別居して独立の生計を営む兄弟姉妹や、生計を一としない別居の祖父母等の別生計の者は含みません。
氏名を記入した家族については、記入欄を全て埋めてください。
イ 「就学者欄」には、次の【就学者】に在学する者を記入してください。なお、それ以外の専修学校（一般課程）、各種学校などに在学する者は、「就学者を除く家族」欄に記入してください。
【就学者】
小・中・高・高専・大学（大学院・専攻科・別科を含む）
盲・ろう・特別支援学校・専修学校（高等課程・専門課程）
ウ 「年齢」は令和8年10月1日現在で記入してください。
エ 「職業」は、食料品小売店、国家公務員、小学校教員、会社社員など具体的に記入してください。なお、主婦、家事手伝い、無職等の場合も必ずその旨を記入してください。
オ 「勤務開始年月」は、現在の職業に就職した年月を記入してください。
カ 「在学学校名」の配置者（国・公・私立別）、学校名を明記してください。なお、入学予定の者は入学を希望している学校名を記入し、後ろに「（第一志望）」と記入してください。

「通学関係」欄
ア 家族の住所からの通学経路は、最も経済的、合理的な方法による経路を記入してください。
イ 徒歩区間は1kmあたり15分として計算してください。
ウ 自宅から最寄り駅（バス停）までは「徒歩」と記入してください。
エ 新潟県外の家族住所で、通学に係る所要時間が明らかに90分以上かかるものは、「〇〇駅～新潟駅90分以上」と記入しても構いません。
オ 所要時間が90分未満の場合であっても、家族住所から通学できない特殊事情がある者は、その理由を「特殊事情」欄に具体的に記入してください。

フリガナ ニイガタ タロウ						男 ・ 女	人文	学部 (研究科)	人文	学科・課程 (専攻)	
氏 名 新潟 太郎							昭和 19 年 6 月 3 日 平成 (19 歳)				
家族住所 (自宅)		〒 954 - ××××				自宅電話 0258 (××) 1234		緊急連絡先[父の携帯電話]			
		新潟県長岡市〇〇町1-2-3				090 (××××) 5678					
家族 及 び 所 得	就学者を除く家族 (生計を一にする家族)	続柄	氏 名	年齢	同居 の別 居	勤務開始 年月	職 業	給与収入 (税込み) (万円)	大学使用欄 (万円)	給与収入 以外の所得 (万円)	大学使用欄 (万円)
		父	新潟一郎	52	同居	1992.4	会社員	435		10	
		母									
		姉	新潟桜	23	同居	2025.4	銀行員	287		0	
		兄	新潟一志	20	同居	2025.7	無職	0		0	
		祖母	新潟ウメ	75	同居	2020.4	年金受給	150		0	
	※主たる家計支持者の続柄に○をつけてください。							計			計
	所得 (本人を除く)	続柄	氏 名	年齢	在 学 学 校 名			学 年	通 学 別		
		弟	新潟志郎	16	新潟県 立 ××高等学校			2	自 宅・自宅外		
		妹	新潟杏	15	新潟県 立 ××高等学校 (第一志望)			1	自 宅・自宅外		
				立				自 宅・自宅外			
				立				自 宅・自宅外			
障害関係	心身障害者				長期療養者						
	本人との続柄 (兄) ※障害者手帳がある者に限る				本人との続柄 (祖母) 令和 3 年 2 月から長期療養 療養に係る年間支出金額 (48 万円)						
通学関係	通学方法の別	区 間				所 要 時 間		特 殊 事 情			
	徒歩	家族住所(自宅)～JR長岡駅				時間 10 分					
	電車	JR長岡駅～JR新潟駅				1 時間 40 分					
	電車	JR新潟駅～JR新潟大学前駅				時間 20 分					
	徒歩	JR新潟大学前駅～新潟大学				時間 20 分					
	総 所 要 時 間				2 時間 30 分						
大 学 使 用 欄	就 学 者	小	中	高	高 専	専 修	大	合 計			
	人 数							人			
	控 除 金 額							万円			
	母(父)子世帯	万円				ア) 総所得金額				万円	
	障害関係	万円				イ) 特別控除額合計				万円	
	主たる家計支持者の 別居又は被災	万円				ウ) 認定総所得金額 (アーイ)				万円	
イ) 特別控除額合計	万円				エ) 基準額 (人)				万円		

(注) 出願者本人が作成してください。

「給与収入（税込み）」欄及び「給与収入以外の所得」欄
「所得証明書（又は「市民税・県民税課税証明書）」に基づき、令和7年1月から12月までの1年分の収入（1万円未満の端数は切り捨て）を、次により記入してください。

- 「給与収入（税込み）」欄
- ア 給与・賞与・遺族の扶助料・年金・恩給・専従者給与等については、収入金額を記入してください。
- イ 同一人物で給与収入が2か所以上からある場合は、合計した収入金額を記入してください。
- 「給与収入以外の所得」欄
- ア 事業所得・農業所得・利子等については、収入金額から必要経費を差し引いた金額を記入してください。
- イ 工・林・水産業所得等で祖父母名義の所得については、その所得を得るための実質的な働き手が父母の場合は、父母の所得欄に記入してください。

「障害関係」欄
ア 本人又は家族に該当者がいる場合は、該当する種別に本人との続柄を記入してください。
イ 長期療養者（出願時において6か月以上にわたって療養中の者又は療養の必要があると認められる者）については、疾病機関及び医療費を記入してください。